

2011年西部地区北遠支部ワークショップ報告書

平成23年10月14日(金)、北遠支部ワークショップが静岡医療科学専門学校にて開催されました。この企画は、内田会長が県士会員と直接対話したいということで、昨年より始まったワークショップです。今回のテーマは、北遠支部の「連携と情報共有」とし、ディスカッションおよび発表が行われました。

26名がディスカッションに参加し、4グループを形成しました。経験年数が1~3年目の若手が多数を占めておりましたが、中堅・ベテランの先生方の参加もあり、活発なディスカッションが行われました。

各グループの発表では、転院サマリーの情報不足が問題点として指摘され、プログラムの内容や装具の処方理由のみならず、性格やリスク管理、今後の方向性などがあるとよいとの意見が出されました。また、紙情報だけでは伝わりにくい面もあり、電話等でのやり取りも必要ではないかとの意見がありました。そのためには、電話をしやすい時間帯をサマリーに記載することや、PT同士が交流を深め、電話をしやすい関係を作ることが大切であるとまとめられました。その他の意見として、

- ・サマリーの静岡県モデルの作成
- ・メールやネット上での情報交換
- ・医療情報が入った個人用USBの活用

など様々な提案がなされました。

内田会長からは、ぜひ、サマリーの静岡県モデルを作成して全国に発信していきたいとのコメントをいただき、今後、会員が一丸となって取り組んでいくことの必要性が再確認されました。

最後に、皆様のご協力のおかげで無事に会を終了することができました。感謝するとともにお礼申し上げます。

